

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	幼児室ポッポ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 15日		～ 2026年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年 1月 20日		～ 2026年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが毎日喜んで登園してくれる。好きな遊びをおもいっきりのびのびできている。	職員間で密にコミュニケーションを取り、子どもたちが充実して過ごせるように環境を整えることを大事にしている。 また、子どもの主体性を一番に考えて支援を行っている。	職員の質の向上を目指して、研修や学習する場の充実を図る。
2	保護者が安心して信頼して子どもを任せて預けてくれている。	保護者との関係を深められるように、コミュニケーションを積極的に取り、親子のニーズにできるだけ答えられるように体制を整えている。	保護者同士の交流を積極的に行える場を作り、いろんな角度から保護者の意見に耳を傾けていく。
3	就学に向けた年長児のグループ支援の充実	年長児同士の関わりを大事に専門性の高い支援を行っている。その中で月1回の音楽療法を取り入れている。	年長児の特性を理解し、職員間で特性理解を深め、子どもに合った支援がさらにできるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・基準は満たしているが、活発な子どもたちが多いためののびのび遊べるスペースの確保の厳しさ。 広い園庭がない。 ・雨天時の遊び場の確保	毎日園外先に出て、おもいっきり体を動かせる時間を作るようにしているが、雨の日はどうしても生ける場所がない。	雨天でも遊べる室内場所の確保を今後検討していく。近隣の他事業所からも情報を得る。
2	保育園・幼稚園という地域の子どもたちとの交流の場	園外先で出会う集団の子どもたちと積極的に集団の中に入れるような関わりを持つことを行ってはいないが、自然と子どもたちが関わる時には交流している。	地域の保育園や幼稚園と交流する場を持てるような関係づくりをしていけるように、職員が交流の場を持てるように努力したい。
3	専門職の確保、特に作業療法的な要素を含めた支援が弱い。	作業療法士の確保に難しさがある。また、関係機関との連携はあるが、作業療法士や理学療法士との連携が薄い。	地域の医療機関、関係機関と情報共有し、作業療法士との繋がれるように積極的に連携していく。